

## 第5 農業近代化施設の整備計画

### 1 農業近代化施設の整備の方向

水稻は、実需者ニーズに対応した品質の向上を目指すとともに、農作業受委託、機械の共同利用を推進し、コストの低減のみならず、高齢化の進展に対応可能な米づくりを進める。また、転作作物については、野菜・花きなどの収益性の高い作物を導入するにあたっては、機械の共同利用を推進し、水稻とのゆとりある複合経営を目指して行く。

畑作については、馬鈴薯、てん菜をはじめ、野菜、豆類についても作業の受委託や機械の共同利用を推進し、コストの低減を図るとともに、農協における集荷、選別、調製、保管施設等の整備拡充や野菜などの生産施設の整備を推進する。

畜産については、燃油や資材、配合飼料価格等の高騰により、厳しい生産環境となっているが、安全・安心・良質な畜産物の生産を基本とし、作業の受委託や公共牧場の利用促進、放牧技術、粗飼料自給率の向上に努め、TMRセンターや家畜飼養管理施設等の施設整備及び収穫・調製機械の整備を推進し、生産性の向上とともにコストの低減を図る。

### 2 農業近代化施設整備計画

今後、施設の統廃合も含め、作物の品質向上やコスト低減に必要な施設及び機械の整備を推進していく。

特に今後、需要が高まっているTMRセンターやコントラクター組織の立ち上げには、各種補助事業等を活用しながら整備を進める。

### 3 森林の整備その他林業の振興との関連

必要に応じ、八雲町森林整備計画等と農業振興地域整備計画との密接な連携の下、必要に応じ農業近代化施設を整備する。

## 第6 農業を担うべき者の育成・確保施設の整備計画

### 1 農業を担うべき者の育成・確保施設の整備の方向

農業従事者の高齢化が進行する中、町農業の持続的な発展を図るためには、認定農業者の確保・育成を図るとともに、農業経営の法人化の推進、また農業後継者のみならず農業外からの新規参入者も含めた就農の推進、女性農業者の経営や営農活動等への参画等を図っていく必要がある。

新規就農希望者には、八雲町農業研修者支援住宅により支援を行う。また、八雲町活性化施設「ファームメイド遊楽部館」を設置し、都市と農村との交流や加工食品の開発など6次産業化の支援を行い、意欲ある多様な担い手を育成・確保するための取組を実施していく。

### 2 農業就業者育成・確保施設整備計画

施設の種類	施設の内容	位置及び規模	施設の対象者	対函番号	備考
農作業体験施設	新たな整備計画はないが、既存施設の充実を図る				
就農支援施設	新たな整備計画はないが、既存施設の充実を図る				
農家住宅	農家住宅	A-1 (黒岩、山崎、花浦、立岩) 10棟 A-2 (富咲、上八雲、鉛川) 10棟 A-3 (内浦町、柴町、三杉町、緑町、春日、大新、熱田、浜松、山越、野田生、桜野) 10棟 A-4 (蕨野、東野、旭丘、落部、入沢、下の湯、上の湯、柴浜) 10棟 B-1 (折戸、相沼、館平、熊石黒岩、見日、鮎川、鳴神、西浜、関内、豊岩、平、大谷、根崎、泊川、泉岳、雲石) 10棟	農業後継者 新規就農者 担い手		

### 3 農業を担うべき者のための支援の活動

新規就農希望者の円滑な就農を図るため、相談窓口として各関係機関・団体と連携し、「八雲町担い手育成センター」を設置し、就農に関する情報提供や就農相談業務を実施するとともに、実践的な技術支援、経営支援として、指導農業士・農業士を中心とした受入体制を整備し、また、新規就農に必要な資金を確保するため、「八雲町新規就農支援資金」制度を創設し、支援を行っていく。

また、青年農業者については、既存の4Hクラブの活動を支援し、次代を担う多様で元気な「人」づくりの育成を図る。

### 4 森林の整備その他林業の振興との関連

八雲町森林整備計画等と農業振興地域整備計画との密接な連携の下、必要に応じ担い手育成・確保施設を整備する。